

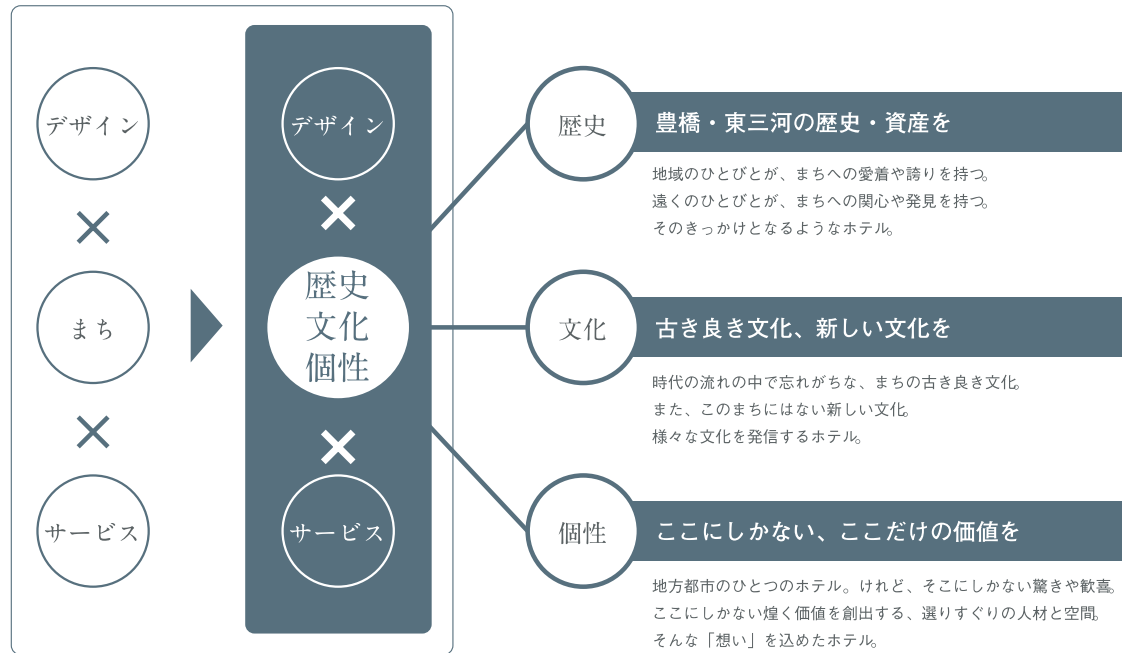


HOTEL ARC RICHE TOYOHASHI = A.R.T = art

# まちでもてなす HOTEL ARC RICHE TOYOHASHI



ホテルアークリッシュ豊橋は  
ホテル単体のサービスやデザインだけで  
お客さまとコミュニケーションを取るのではなく、  
「豊橋・東三河」というまち全体で  
お客さまとふれあい、  
おもてなしをするホテルです。



約40年前、「豊橋に本物のホスピタリティを」の想いで誕生した豊橋グランドホテル。

アークリッシュはその想いを継承する、“新しい中にも伝統を携えたホテル”です。

## 歴史

豊橋・東三河の歴史・資産を

→ まちの魅力を再発見

豊橋・東三河の歴史を  
写真でたどる

明治・大正・昭和の街並みや出来事の写真を展示

- ・神野新田
- ・豊橋駅の移り変わり
- ・玉糸製糸
- ・二川宿本陣
- ・札幌のスズラン灯
- ……etc.



\*右:参考イメージ  
「豊橋民衆駅」昭和25年3月完成



「市電開通」大正14年花電車



「市電開通」大正末期の豊橋駅



「魚市場」大正2年設立



「錦館」帝国キネマの映画を上映



「魚市場」大正2年設立

\*上記参考写真：豊橋図書館所蔵

## 文化

古き良き文化、新しい文化を

→ まちの文化を再発見

文化・伝統を付け足す、  
ホテルの核づくり

豊橋・東三河に関わりのある絵画を展示

- ・森 清治郎 氏の作品
- ・河村 秋邨 氏の掛け軸
- ・中村 正義 氏 作品
- ……etc.



\*右:参考イメージ  
「ガルタンブの流れ」森清治郎 作品  
size: 130.3×162.0cm



「南仏の村」森清治郎 作品  
現在：グランドホテル 8F ロビーに展示



「あじとにんにく」森 清治郎 作品



「舞妓(?)」中村 正義 作品



「立春大吉」河村 秋邨 作品

個性

ここにしかない、ここだけの価値を

## ARC RICHE STYLE

個性の異なる空間、三河の豊かな素材を用いたオリジナル料理、その時間をより印象的なものとする演出力。

ARC RICHEは、これまでの東三河になかった新しいパーティSTYLEを提案します。



### ONGAKUDO

(ココラガーデン内)

三河の歴史や風土をモチーフにした、象徴的な壁面。チャペルとして、イベントスペースとして利用できる空間。



### THE GARDEN

(3F レストラン)

ガーデンの豊かな自然を眺めながら楽しむ、三河の新鮮な食材。“食三河”を体感するアークリッシュのメインレストラン。



### THE TERRACE ROOM

(4F バンケットルーム)

ホテルとしては例が少ない、バルコニー併設のバンケットルーム。光と風を感じる新しいパーティSTYLEを演出。



### THE GRACE

(5F バンケットホール)

2フロア吹き抜けの開放感と、ホテルの格調を併せ持ったバンケットホール。セバレット可の多目的空間。

※写真はイメージです。実際とは異なる場合があります。

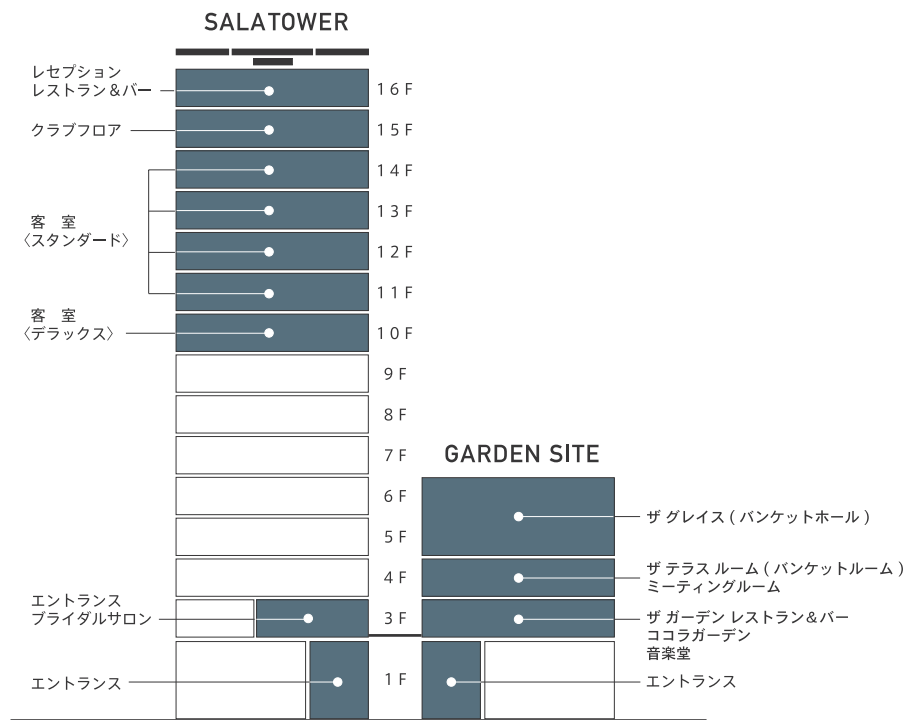


# ARC RICHE SALON

HOTEL & BRIDAL

名 称	アークリッシュサロン ホテル&ブライダル
開 業	2007年12月20日(木曜日)
営業内容	ブライダル予約受付 ※2008年9月13日(土曜日)実施の挙式からになります(予定) ※一般宴会に関する予約受付は 2008年1月からの開始予定となっております
営業時間	10:00～19:00
定 休 日	毎週火曜日 および2007.12.30～2008.01.05 および名豊ビル休館日
所 在 地	愛知県豊橋市駅前大通2-48 名豊ビル1F
電話番号	0532-51-4361 ※予約制となっております。お電話にてご連絡下さいませ

# 2008.9 GRAND OPEN (予定)



基本設計：株式会社 北山創造研究所, 株式会社 乃村工藝社 A.N.D.  
 内装監理：豊橋駅前大通一丁目地区監理共同企業体  
 ホテルコンサルティング：株式会社 サミットソサエティ  
 プライダルコンサルティング：株式会社 プラン・ドゥ・シー

事業主体：ガステックサービス株式会社  
 ホスピタリティ本部



2007.12.04現在

## □ 施設の主な特色

### ○ ガスコージェネレーションシステムの採用

ガスエンジンやガスタービンにより発電機を駆動させ、電気を発生させるとともに、排ガスや冷却水の熱を急騰や冷暖房に利用できる都市ガスを燃料とするガスコージェネレーションシステムを採用します。これは、都市ガスから、「電気」と「熱」という2つのエネルギーを発生させる最先端のエネルギー有効活用システムであり、これまで廃棄していた廃熱を有効に回収利用することでエネルギー総合効率は70～90%と非常に高くなり、CO<sub>2</sub>削減に貢献します。



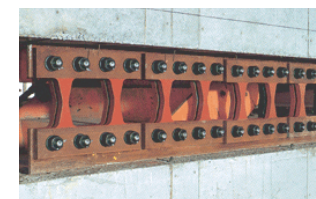
### ○ 地下水膜ろ過システムの採用

本施設は、地下水を有効活用することにより、震災などが発生し上水道が断水した場合においてもライフラインを維持することができ、地域住民の方々に供給する水を確保することができます。約100mの深井戸からくみ上げた地下水を原水槽に貯蔵するとともに、塩素殺菌を行い、次に砂ろ過装置で鉄分などをろ過します。最後に超ミクロ膜で細菌類を完全に除去することで、良質な水を供給することができます。



### ○ 制震構造

地上16階建てのSALA TOWERは地域の「防災拠点」としての役割を果たし、東海・東南海地震が同時に発生した場合においても、建物が崩壊せず、また外壁が脱落しない構造となっています。柱梁フレームの中に制震装置（特殊な鋼材で作られたハニカム構造ダンパ）を各階計208枚組み込むことで、地震時や暴風時のエネルギーを吸収し、建物の揺れを低減します。



### ○ バリアフリー法（旧ハートビル法）の適用

ココラフロントは「不特定多数の者が利用する場所」であり、バリアフリー法【誘導基準】の認定を目指した施設づくりを行います。体が不自由な人を含めてすべての人が施設のすべての場所（共用部）を往来することができる施設とします。具体的には、「出入口」の幅員アップ、車いす同士がすれ違うことができる「廊下」、幅員が広く点字ブロック付きの「階段」、「車いす対応型エレベーター」「ハンディキャップ用個室トイレ」等も設けます。さらに、床のフラット化、導線の確保、浴槽への段差の解消などをクリアした「車いす対応型の客室」も用意します。



バリアフリー法認定シンボルマーク

他に、地球温暖化防止のための「屋上緑化（約750m<sup>2</sup>）」や、空調負荷低減のため、遮熱・断熱性能に富んだ「Low-E複層ガラス」を採用します。さらに、空調・衛生・電気・照明、防災等の各設備を各種センサ、メーターにより運転管理・自動制御を行うことで、室内環境とエネルギー性能の最適化を図ります。